

# 近代の誘惑 —日本画の実践

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art  
つながる、次へ

## 【基本情報】

**展覧会名：**近代の誘惑—日本画の実践

**会 期：**令和 5（2023）年 2 月 18 日（土）～3 月 26 日（日）

**会 場：**静岡県立美術館 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

**休 館 日：**毎週月曜日

**開館時間：**10:00～17:30（展示室への入室は 17 時まで）

**観 覧 料：**一般 800 円（600 円）、70 歳以上 400 円（300 円）、大学生以下無料

※（ ）内は前売および 20 名以上の団体料金。

※収蔵品展、ロダン館もあわせてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者 1 名は無料。

**主 催：**静岡県立美術館

## 【概 要】

静岡県立美術館のコレクションに個人所蔵の重要作を交え、明治から昭和にかけて描かれた日本画を紹介する展覧会です。

江戸から明治への大変革期、画家たちは、西洋化の激流のなかで、新しい時代にふさわしい絵画を求めて奮闘しました。“日本画”とは、新たに登場した“洋画”に対応する言葉として、この時代に作られたものです。既存の流派の解体や展覧会制度の導入、需要者層の広がりなど、絵画を取り巻く枠組みは、近代国家としての日本の歩みとともに変化し、再構築されていきます。

展示は、近代への橋渡しとしての幕末の作品から始まり、西洋絵画の学習や、そこから顧みた日本の古典美術の再発見など、時代とともに展開する画家たちの真摯な挑戦の軌跡をたどります。個性を重ねる大正期の多彩な表現を経て、昭和初期の成熟、そして戦中・戦後へ。近代という時代が生んだ日本画の成果を、ご堪能ください。

## 【展覧会の見どころ】

### ■幕末から明治・大正・昭和、変化する時代と共に歩んだ日本画の諸相を追いかけてみます。

近代とひと口に言っても、新旧入り交じる過渡期ならではの展開を見せた明治時代、近代化が進み西洋絵画の学習が深化する大正時代、独自の洗練を極めた昭和戦前期や日本画滅亡論に揺れる戦後期など、時代と社会の変化とともに日本画の姿もどんどん変化していきます。時代とともに歩み、変化する日本画の姿を追い、その諸相をご覧ください。

### ■メインストリームだけではない多様な日本画をご紹介します。隠れた名品に出会うチャンスです。

現代の展覧会では取り上げられることの少ない守旧派、いわゆる旧派の画家たちも、当時の絵画界においては一定の存在感を持ち、多様な作品を世に送り出していました。彼らの活動も視野に入れて作品を紹介することで、当時の絵画界の様子を厚みをもってご紹介します。これまで知らなかった名品を発見していただくチャンスです。

### ■大観、栖鳳、省亭 ——スター選手も目白押しです。

近代日本画家の代表格・横山大観の「群青富士」や、再評価が急速に進む渡邊省亭の「十二ヶ月花鳥図」など、スター選手の代表作もご覧ください。特に、渡邊省亭「十二ヶ月花鳥図」は全十二幅を一挙公開。幕末の生まれながら西洋風の迫真的な描写をいち早く身に付け、完成度の高い独自の花鳥画の世界を作り上げた省亭の魅力を、存分に味わっていただく絶好の機会です。

## 【主な出品作家】

狩野雅信、菊池容斎、塩川文麟、狩野芳崖、橋本雅邦、富岡鉄斎、下条桂谷、鈴木松年、川端玉章、小林清親、渡邊省亭、竹内栖鳳、寺崎広業、横山大観、下村観山、川合玉堂、荒木十畝、尾竹竹坡、今村紫紅、近藤浩一路、山元春挙、土田麦僊、村上華岳、吉川霊華、鐔木清方、松岡映丘、安田靉彦、奥村土牛、中村岳陵、福田平八郎、野島青茲、秋野不矩

※全会期ご覧いただけます。

## 【関連イベント】

### ■館長美術講座

#### 「画家たちは何に誘惑されたのか」

講師：木下直之（当館館長）

日時：3/12（日）  
14:00～15:30

会場：当館講堂

### ■スライドトーク

#### 「日本画の実践を読み解く」

日時：3/5（日）  
14:00～15:00

会場：当館講座室

### ■学芸員による

#### フロアレクチャー

日時：2/23（木・祝）

3/11（土）

3/18（土）

いずれも 11:00～

集合場所：第1展示室（要観覧券）

※いずれも申込不要。定員などの詳細は当館ウェブサイトにてお知らせします。

## 【ご利用案内】

### 交通案内

- ・ JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約 6 分
- ・ JR「静岡駅」南口からタクシーで約 20 分、または北口から静鉄バスで約 30 分
- ・ JR「東静岡駅」南口からタクシーで約 15 分、または静鉄バスで約 20 分
- ・ 静岡鉄道「県立美術館前駅」から徒歩約 15 分、または静鉄バスで約 3 分
- ・ 東名高速道路・静岡 I C、清水 IC から約 25 分、日本平久能山スマート I C から約 15 分、新東名高速道路・新静岡 I C から約 25 分

### ウェブサイト

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

### お問合せ先（掲載用）

静岡県立美術館 054-263-5755（代表）

！）ご観覧にあたり事前予約の必要はありません。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期等を変更する場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

#### このプレスリリースに関するお問合せ

静岡県立美術館 総務課・深澤 Tel. 054-263-5755 Fax.054-263-5767

学芸課・石上 Tel. 054-263-5857 Fax.054-263-5742

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

## 近代の誘惑—日本画の実践

宛先: 静岡県立美術館 (担当) 総務課 深澤 / 学芸課 石上 宛

E-mail : [webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp](mailto:webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp)

- 次ページに掲載されている図1～図9を広報用画像としてご提供します。  
本票に必要事項をご記入のうえ、上記メールアドレス宛に本票を添付してお申し込みください。

### 【画像ご使用に際してのお願い】

- \* 画像データはメールにてお送りします。
- \* 画像の提供は本展覧会をご紹介いただける場合のみとさせていただきます。
- \* 使用後のデータは破棄していただきますようお願いいたします。
- \* クレジットを必ず明記してください。
- \* 画像への文字載せ、トリミングをする際はご相談ください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当者まで見本紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

貴社名: \_\_\_\_\_ 媒体名: \_\_\_\_\_

ご担当者名: \_\_\_\_\_ 発行・放送予定日: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ 発行部数: \_\_\_\_\_

FAX: \_\_\_\_\_ 定価: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_ 掲載予定コーナー名等: \_\_\_\_\_

URL(ウェブの場合): \_\_\_\_\_

希望する広報用画像: \_\_\_\_\_

連絡欄: \_\_\_\_\_

◎本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を 【 希望する ・しない 】  
招待券送付先 【住所:〒 \_\_\_\_\_】

このプレスリリースに関するお問合せ

静岡県立美術館 総務課・深澤 Tel. 054-263-5755 Fax.054-263-5767

学芸課・石上 Tel. 054-263-5857 Fax.054-263-5742

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2



【広報用画像】



図 1

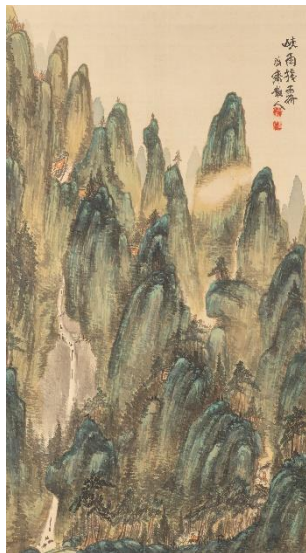


図 2



図 3-1



図 3-2



図 4



図 5



図 6



図 8



図 7-1



図 7-2



図 9

図 1 狩野雅信「花鳥図」江戸時代後期 静岡県立美術館蔵

図 2 富岡鉄斎「蜀國棧道図」明治 38 (1905) 頃 静岡県立美術館蔵

図 3-1 渡邊省亭「十二月花鳥図」より三月 明治末期～大正初期 個人蔵

図 3-2 渡邊省亭「十二月花鳥図」より四月 明治末期～大正初期 個人蔵

図 4 今村紫紅「宇津の山路」明治 45 (1912) 静岡県立美術館蔵

図 5 鈴木松年「神武天皇・素戔鳴尊図屏風」より素戔鳴尊図 明治 22 (1889) 個人蔵

図 6 尾竹竹坡「乳供養」(右隻) 大正 3 (1914) 個人蔵

図 7-1 横山大観「群青富士」(左隻) 大正 6-7 (1917-18) 頃 静岡県立美術館蔵

図 7-2 横山大観「群青富士」(右隻) 大正 6-7 (1917-18) 頃 静岡県立美術館蔵

※図 7 の両方を掲載いただく場合、(右隻)(左隻)の表記は不要です。

図 8 松岡映丘「今昔ものがたり伊勢図」昭和 4 (1929) 静岡県立美術館蔵

図 9 松林桂月「夜桜(春宵花影)」昭和期 個人蔵